

2025
夏号



発行 城里町社会福祉協議会 ☎ 029-288-7013 FAX 029-288-7021 ホームページ <https://www.shirosato-syakyō.com>
編集 広報ボランティアグループ



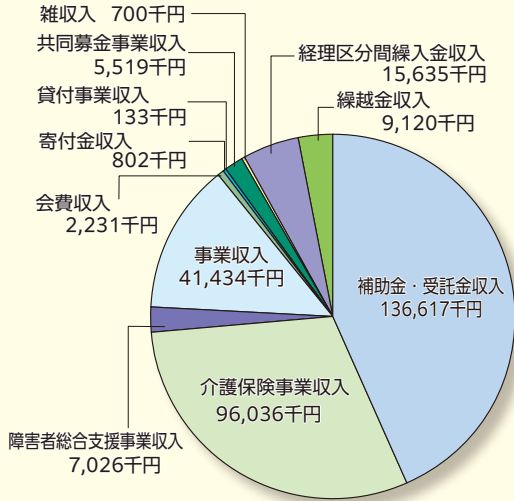
主な内容	●令和6年度事業報告・決算…………… 2P	●多世代の集いの場～なかせプラっと広場～ …… 5P
	●心身ともに健康に～そよ風サロンA・B… 3P	●青山花しょうぶ園…………… 7P

広報紙「かざぐるま」は、赤い羽根共同募金助成金で、年4回発行しています。

令和6年度 城里町社会福祉協議会決算

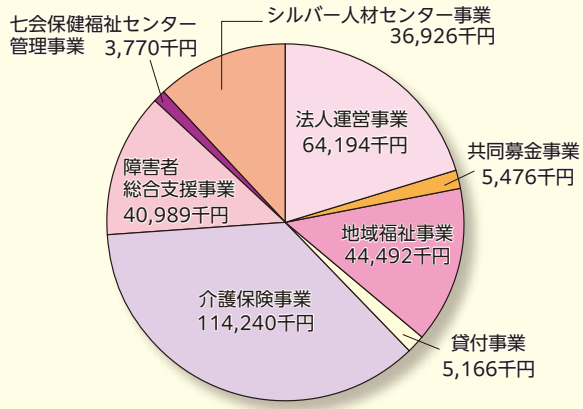
歳入の部

収入 3億1525万3千円



歳出の部

支出 3億1525万3千円



◆令和6年度 事業実績報告◆

会務の運営	理事会 3回開催 評議員会 3回開催 監事会 1回開催
社協会費	一般会員 4149世帯 2,057,500円 特別会員 58名 174,000円
共同募金運動	赤い羽根共同募金 3,731,835円 歳末たすけあい募金 1,683,106円
広報紙の発行 広報委員会	「かざぐるま 77号・78号・79号・80号」 各戸配付 広報紙発行に関わる編集会議 累計16回
社会福祉大会	善意銀行寄付者、福祉功労者の表彰、受賞者70名(団体含む)
地域ケア推進事業 キーパーソン会議 クイック調整会議	事例検討、意見交換 計 9回 <在宅ケアチーム 29チーム> 8回
配食サービス	利用登録者数 198名 延べ6,843名利用
ふれあいサロン事業	自主活動サロン(39か所) 延べ7,347名参加
ふれあい訪問サービス	延べ 509名利用
家族介護用品支給事業	支給者実人数 10名 延べ支給人数 73名
子どもヘルパー派遣事業	交流事業・お手紙作成事業ほか 子どもヘルパー30名 延べ592名参加
生活支援体制整備事業	第2層協議体意見交換会ほか 4回
地域活動支援センター事業	農作業・外注作業など実施 実利用者 14名
日中一時支援事業	延べ 1,185名利用
子育て援助活動支援事業	利用延人数 12名 利用延時間 111時間
在宅福祉サービス事業	利用延人数 420名 利用延時間 705.5時間
育児用品助成事業	延べ利用者 66名
入学準備金支給事業	小・中学校入学祝い金支給 4名
訪問理美容サービス事業	延べ利用者 15名
介護用品支給事業	延べ利用者 228名
ボランティア活動事業 福祉体験学習	小学生等対象 福祉体験など5回開催 延べ80名参加
心配ごと相談事業	相談件数 64件
居宅介護支援事業	実人数 285名 延べ 2,500件
訪問介護事業	実人数 35名 延べ 2,097名
通所介護事業	実人数 66名 延べ 5,220名
障害者総合支援事業 相談支援事業 居宅介護事業	計画実人数 153名 延べ 373名 訪問実人数 4名 延べ 335名
シルバー人材センター	受注件数 1,023件 延べ就業人数 4,833人
デマンド交通事業	利用者計 10,536人 1日当たり43.4人
金婚者への記念品贈呈	金婚該当者 4組
小口貸付事業	2件
身体障害者補助犬飼育管理費補助事業	1名
フードパントリー事業	利用世帯 25世帯
福祉バス運行事業	高ク連利用 1回 他団体利用 3回
自主防災組織活動補助事業	助成団体 8組織
歳末たすけあい見舞金支給事業	独居老人 156世帯 要介護(4・5)世帯 1世帯 障がい者世帯 7世帯 母子父子世帯 9世帯 準要保護世帯 0世帯
交通空白地有償運送事業	実人数 11名 利用延人数 24名

視覚に障害がある方が持つ**白杖**について知っていますか？

視覚に障害がある方が使用する白い杖は「**白杖**」^{はくじょう}と呼ばれています。白杖にはいろいろな機能があります。

① 視覚障害があることを周囲に知らせます。

白杖は世界中で使用されているため、周囲の車両などから衝突しないような配慮を受けやすくなっています。

② 白杖からの触覚を通じて道路の凹凸（路面の情報）等を確認します。

進路に穴が開いているか、^{つまづ} 躓く危険はないか確認します。

③ 進む方向、両脇に障害物があるかどうか確認します。

白杖を身体の前で斜めに構え、正面前方で左右に動かしながら、障害物を事前に察知します。

白杖を上を上げていたら、それはSOSのサインです。

声をかけてサポートをお願いします。その際、後ろから声をかけるのではなく、前方から「何かお手伝いしましょうか」と声をかけてください。一緒に歩くときは、半歩前に立ち、自分のひじの少し上を持ってもらいながら前に進んでください。



心身ともに健康に ~そよかぜサロンA、B~

コミュニティセンター城里の研修室に、シルバーリハビリ体操教室そよかぜサロンAを訪ねました。このサロンは、町のさわやか会（歩く会）を母体として結成されたもので、七会地区や桂地区の方々も多くおられます。

参加人数が多いため、第1・3の金曜日をA、第2・4はBと、2グループに分け、毎回午後1時30分から3時迄行っています。いずれの教室も30名近くおり、元気な方々ばかりです。

満田好一さん（84歳）は、3年前犬の散歩の際左ひざの靭帯を切ってしまいました。以来正座は出来ませんが、体操を続けてきたおかげで^{あぐら} 胡坐はかけます。「体操はやれば楽になりますね。体は動かさなければいけません」と語る満田さんは、寝る前にも、布団の上で体操をするそうです。



サロンAの皆さん



サロンBの皆さん

小原アキノさん（78歳）は、3年前ご主人を亡くしました。以来悲しみに気持ちの整理がつかず、ふさぎ込んでいました。そんな折サロンに誘われ、皆と色々話をするうち、やっと一歩前へ踏み出すことが出来たそうです。「今はサロンに来るのが楽しみで、皆様に支えられて今日があることに感謝で一杯です」と生き生きと語っていました。

体操を通して仲間と触れ合うなか、心身ともに健康になっていくサロンの役割を見たようでした。「明るくなっていく人を見て、こちらの元気をもらっています」と小滝京子代表は、嬉しそうに語っていました。



（桂村史より）

茨城鉄道は、大正15年10月に赤塚・石塚間、昭和2年2月には石塚・阿波山間、3月には阿波山・御前山間が開通し、赤塚・御前山間約25キロが開通の運びとなりました。昭和3年9月にはガソリンエンジンを動力とする車輛が運転され、本数の増加、時間の短縮により利便性がかなり高まりました。昭和2年に免許を得た沢山・玉川間、野口・長倉間は計画のみに終わっています。これは那珂川架橋に莫大な費用を要するため、もし開通していたら、と思うと残念でなりません。

しろさと 63 茨城鉄道

もらって生きる

北方地区 松尾桃陽さん

磁器・金属・写真で楽しく生きる



楽しい作品を創る松尾さん

松尾さんは透かし彫りの技法を用いた工芸作品だけでなく、食品をモチーフとした心ませる写真や、真鍮を使った金属作品も手がけています。平成14年から水戸京成百貨店で個展を5回開催し、城里町役場でも写真展を開催するなど多方面で活躍されています。

長崎県生まれの松尾さんは、九州産業大学芸術学部クラフトデザイン科を卒業後、伊万里陶苑で従事してから桃陽窯を開窯し、今は北方に住んでいます。

現在、松尾さんは那珂西一区農村集落センターの管理業務を行いながら、一室にはアトリエがあり、白地に空色のブルーでとても爽やかな色の透かし彫りの磁器なども展示されています。

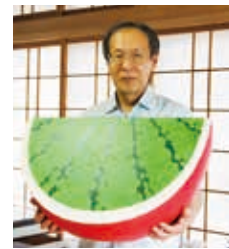


透かし彫りの磁器と彫金

新規の入会は出来ないそうです。教室に参加されている方は、「松尾さんはとても楽しい人で、私たちの話を良く聞いてくれてとても話しやすい方です」との言葉が返って来ました。

7月31日(木)から8月6日(水)まで、那珂西一区集落センターで作品展を行っています。ご興味のある方はお立ち寄りください。

この集落センターは、松尾さんが管理業務をすると共に一室をアトリエとして借り、陶芸教室や彫金教室を月1回開いています。教室は、陶芸や彫金を習うだけでなく、普段の生活から息抜きが出来る楽しく過ごせる空間になっていて遠方からも一時間位かけて、通う方もいるそうで、現在は満席で



「品種改良」という名のスイカです



街で出会った
なまじい話 ⑥

70歳の高校クラス会

高校卒業してから52年が経ち、先月4回目のクラス会があり司会をしました。グループラインを作り、楽しんで貰えるよう色々と考え、当日を迎えました。

会が始まり、30分位過ぎた頃から、お酒も入ったせいか、傍若無人な状態になり誰一人司会の話聞いていなくて腹が立ちました。

翌日、グループラインには、楽しいクラス会でした等の書き込みがたくさんあり、考えてみれば司会を無視する程、70歳の高齢者たちが高校時代に代戻って元気に楽しんでくれたのだから、結果として大大成功のクラス会でした。



多世代の集いの場 ～なかんせプラツと広場～

5月25日(日)2回目の開催となる「なかんせプラツと広場(以下なかんせ)」が那珂西2区集落センターで行われました。

なかんせは祐川美穂さんが代表で、「赤ちゃんからお年寄りまで多世代にわたり集える場所を提供できれば」との思いで始めました。スタッフ5名、ボランティア等が中心となり、企画運営をしています。



遊具で遊んで元気いっぱい

毎月第4日曜日10時から始まり、センター内にはお茶やお菓子、折り紙や図書等があり、自由に過ごす事が出来ます。入口で受付時に**食券(中学生以下・65歳以上100円、大人300円)**を購入すると、子供食堂で昼食が食べられます。この日は地区のお年寄りの方と一緒に昔遊び・茨城交通茨城線写真展の企画がありました。また、地域で採れた野菜や花苗等の販売ブースもあり、老若男女多くの人々で賑わっていました。

子供食堂では、地域の方々から寄付していただいた野菜や米等を使った具だくさんカレー、みそ汁、果物たっぷりゼリーが出され、子供もお年寄りも口々に「おいしい」と高評価でした。

これから先も色々楽しい企画があるそうです。詳細はホームページで

(写真は6月22日撮影)

(HP: <https://nakanse.org>)



暑いなか兄妹で来てくれました!



昼食の配膳中



お誕生日おめでとう!!

つくしの活動の中で、長い間続いている誕生会という活動があります。自分の誕生月には、仲間たちが趣向をこらしたお祝いをしてくれます。作業所内をおりがみやペーパーフラワーで飾り付け、「お誕生日おめでとう」と書かれたパネルや、色とりどりのくす玉作りなどを行います。そして、1年間撮りためておいた写真の中から厳選し、オリジナルのアルバムを作成します。ま



た、午後に行うレクリエーションの内容や、司会進行役なども仲間たちが行い、分担しながら誕生会の準備を進めていきます。この日のレクリエーションは卓球です。笑いあり、白熱した戦いがあり、賑やかな時間を過ごしました。最後に作成したアルバムやお花を手渡して誕生会は終わります。みんなからお祝いされることにより、仲間たちとの絆を深められる活動ですので、これからも続けていきたいと思えます。



オリジナルアルバムをプレゼント

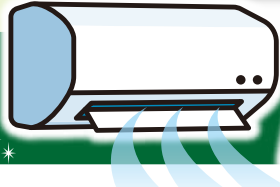


車イスでの乗降体験

安心、安全に利用していただくために7月2日(水)、4月から福祉有償移送サービスの協力会員として活動する方を対象に、研修会が行われました。本サービスを利用する方の中には、車イスを使用している方もいます。協力会員は自ら車イスで福祉車両の乗降を体験し、福祉車両の正しい操作の仕方を学びました。その後、「ほろるん」と「のつてく」の2つの有償移送サービスについて講義を受けました。皆様が安心、安全に利用していただくために、今後も研修会を行う予定です。

高齢者のための熱中症対策

熱中症の予防には、水分補給と暑さを避けることが大切です



部屋の中でも注意が必要です エアコンを上手に使いましょう

熱中症は、室内や夜間でも多く発生しています。節電にも配慮して適切にエアコンを使いましょう。

また、エアコン使用中もこまめに換気をしましょう。

節電 こまめにフィルターのお手入れをする
2週間に1回を目安にしましょう

節電 適切な室温設定

節電 すだれやカーテンを活用し直射日光を遮る

換気 換気をして屋外の涼しい空気を入れる

換気 窓とドアなど2カ所を開ける

温度・暑さ指数を確認する

暑いからエアコンつけてね!

換気 扇風機や換気扇を併用する
長時間、風が体に直接あたらないように注意しましょう

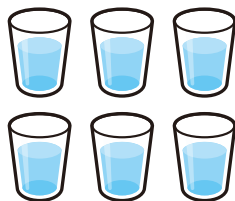
節電 クールビズを取り入れる

節電 複数台の使用を避け、一部屋に集まるなど工夫する

さらに 気をつけるべきポイント

のどが渇いていなくても **こまめに水分・塩分を補給**しましょう

1日あたり
1.2L(リットル)を
目安に



コップ約6杯

- 1時間ごとにコップ1杯
- 入浴前後や起床後もまず水分・塩分補給を



※水分や塩分の摂取量はかかりつけ医の指示に従いましょう。

手話を学ぶ50

「あ」から始まる単語

雨と湿度と蒸し暑さ、夕暮れに見る青や紫の花姿にしばしの涼を感じつつ、梅雨が明け、今年も猛暑の日々を数える。

「あきらめる」

左の手のひらに右の人差し指をあて指を立てるように左手で押す。



「飽きる」

右手の親指を右胸のあたりにあて、手首をひねって下げる。



「あきれる」

右手の親指と人差し指であごをはさみ下ろす。



「アクセサリ」

右手の親指と人差し指で作った輪を首の下にあて、右へと動かす。



「明け方」

右手の親指と人差し指を曲げ、左手の下からゆっくりと上げていく。



「あげる」

両手の手のひらを上に向けて並べ前に差し出す。



「あこがれる」

右の手のひらを下に向け、ヒラヒラさせながら頭の横から前に出す。



「朝」

右手でこぶしを作り、こめかみのあたりにあててから下ろす。



「麻」

左手の指を開き、その指の間に右手の指を入れる。



「浅い」

両手の手のひらを向かい合わせ、上下におき両手を近づける。



青山花しょうぶ園 身も心もリフレッシュに

6月1日(日)から20日(金)まで、下青山の「青山花しょうぶ園」が開園しました。14日(土)15日(日)は、花しょうぶ苗や、地元産の野菜などの販売も行われ、雨という天気予報を見事に覆して、曇天ながら時おり日も差していました。「今日の新聞を見て初めて来ました」「来年も必ず来ます」など、県内外から多くの方が訪れました。約3千㎡の休耕田に紫、白、ピンク、黄など約70種1万2千株の花が競い合っていて咲いています。特に花卉が八重の大輪の花は見事で、多くの方が近寄ってカメラに収めていました。

朝早く来て、欲しい苗を選別し開園を待っている方々もいました。また、ある方は花しょうぶとアヤマのの違いについて質問していました。保存会代表の山崎秀雄さん一重さん夫妻が身振り、手振りですっきりと説明すると「すっきりしました」と納得の笑顔で喜んで帰って行きました。「苗の手入れや世話は大変ですが、遠くから来てくださる方に喜んでもらえることが一番嬉しい。来年も、もっと良い花を咲かせます」と山崎さんは、笑顔で語っていました。

朝早く来て、欲しい苗を選別し開園を待っている方々もいました。



青空の下できれいに咲いています



昭信さんは今年の8月で86歳になります。現在は、シルバー人材センター

仲村昭信さん 86歳 那珂西

わが町のさわやか元気さん (67)

ジャガイモ、ピーマン、ナス・・・庭の一角にある畑で種を蒔き苗を植え、草を取り、丹精込めて野菜を



浅野まさこさん 98歳 石塚

育てている浅野まさこさん。

まさこさんは、今年98歳になりますが、とても元気です。医者は、血圧と整形外科にかかる位で、とにかくよく動いているとのこと。

料理番組を見るのが大好きで、畑で採れた野菜を使い煮物を作るそうです。野菜が大好きで、まさこさんにとって野菜は、長寿の秘訣のようです。

の会員になっていて、依頼があったお宅に向き、樹木の剪定等をしていきます。元々、植木が大好きで、通信教育で植木職人の免許を取得する等、とても勤勉な方です。家の周りの樹木は、きれいに手入れされています。そして、真面目な性格で依頼主から大変信頼されています。

「私は家族や周りの人に恵まれているの。ありがたいです。涙が出そうです」と話すまさこさん。家族の方はもちろんですが、ご近所の方も事あるごとにまさこさんを気遣ってくれることが、とても嬉しいと何度も話してくれました。まさこさんの楽しみは、毎朝隣の敷地に住むひ孫さんが登校するのを見送ることだそうです。これはまさこさんの生き甲斐のようです。

奥様と一緒にいつまでもお元気で過ごしてください。お願いいたします。



地域活動支援センター 登録職員 網野由布子



法人運営部嘱託職員 小林 栄子

今年採用になりました職員をご紹介します。

新規採用職員紹介

焼けるような、という表現がぴったりの陽射しなのか、皆様がかがお過ごしでしょうか。こまめな水分補給と十分な睡眠、そして軽めの運動が良いとされていますが、なかなか実施することは難しいことです。少し疲れたと思ったら、早めの休息を心掛け、この厳しい現実を乗り越えていきましょう。「もう少しだけから・・・」は禁物ですよ。

編集後記

- 表紙 1
令和6年度城里町社会福祉協議会決算 2
視覚に障害がある方が持つ白杖について正しく理解しましょう 3
心身ともに健康に『そよかせサロンA、B』 3
しるさと③茨城鉄道 3
さらっと生きる 4
ちよつとい話 4
多世代の集いの場『なかんせプラッツと広場』 5
つくしの四季 5
安心、安全に利用していただくために 6
高齢者のための熱中症対策 6
手話を学ぶ 7
青山花しょうぶ園 7
身も心もリフレッシュに 7
わが町のさわやか元気さん 8
新規採用職員紹介 8
目次・編集後記 8

目次